

第3章 八高線（八王子～高崎）

第1節 5月26日(土);高崎～寄居 晴れ

高崎(9:00)～倉賀野～北藤岡～群馬藤岡～丹荘～児玉～松久～用土～寄居

平成13年5月26日(土)、本日から3回の予定で約100Kmもある八高線に挑戦しようと考え、5時前に起き始発で高崎に向う。途中電車の中から地形を観察し、川や道路の状況等をメモする。群馬藤岡から丹荘にかけて烏川(利根川支流)あり。また、児玉から松久にかけても川あり。高崎には9時に到着し、寄居までの32.5Kmを歩く。急遽八高線への挑戦を思いつき、高崎近郊の地図を持たずに出かけたため、途中倉賀野の近くで埼玉県の地図を購入する。



※高崎駅、倉賀野駅



※北藤岡駅

タイミングよく群馬藤岡駅で出くわしたので、この駅の記念写真を撮る。群馬藤岡から寄居までは国道254号線を歩く。群馬藤岡のサービスエリアでコンビニの弁当を食べる。児玉から松久にかけて麦畑があり、久しぶりに麦畑を見て心が和んだ。加えて、懐かしい黒ずんだ桑の実とも対面することができた。美味しそうであったので一粒試食させてもらった。うまく描くことできな

かったが、美里町の駒衣で初めて風景をスケッチする。



※群馬藤岡駅、寄居駅への路



※丹荘駅、児玉駅

児玉辺りから寄居までは県道に沿ってあったのでわかりやすかった。寄居の近くで花園町が地形の関係で2回出現したので、道に迷ったような錯覚をした。寄居はJRの他、東武線が合流している。誤って東武の寄居駅の方に行ってしまった。寄居の先は、荒川がさえぎり複雑な地形となっているため、寄居で打ち止めした。万歩計で67,560歩をマークした。



※松久駅、用土駅



※寄居駅、寄居駅への路

第2節 6月2日(土):寄居～高麗川 晴れ／一時雨

寄居(8:20)～折原(10:26)～竹沢(12:30)～小川町(13:35)～明覚～越生(おごせ、17:05)～毛呂(17:55)～高麗川(19:18)



※花まつり（寄居駅近くの花園にて）

寄居からの続きは、2001年6月2日(土)となった。この日も5時前に起き南林間始発で寄居に向った。八王子に近い分8時20分からのスタートとなった。寄居着くや否やアップで寄居駅の入った写真を撮る。寄居駅前には簡保保養所の広告があった。スタートを間違った方向

に進んでは大変なので、念のため地元の住人に聞いたところ、本来南に歩くべきところ西の方向に歩いていた。疑わしい時には、聞くのが一番である。



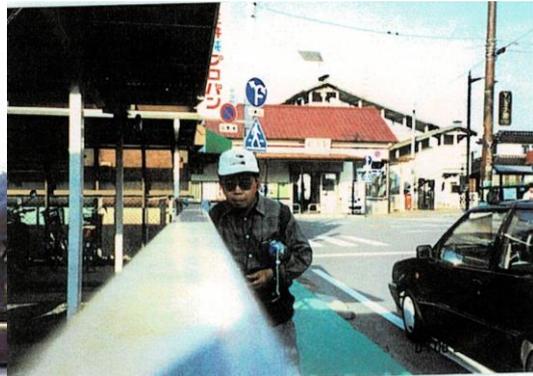
※折原駅、第一西之入踏切（竹沢駅への路）

橋が1本しかないため、荒川越えに苦労した。荒川を越えたところに、鉢形城跡(9時17分)があり写真撮影後ここをしばらく散歩する。

折原と竹沢駅については、山間の関係から非常に苦労した。鉄道に忠実に従わなかったためひどい目にあった。一つは、折原(10時26分着)を過ぎた直後の柿平橋、五の坪川橋、大霜橋の辺りの出来事である。道が八高線に平行して走っていると思い、直進したところ、八高線に比べ双曲線を描いて秩父の方に行ってしまったのである。リカバリーに45分位要した。もう一つは、この迷った箇所から30分位山を登ったところの出来事である。方向性が疑わしいと思い住民に聞いて軌道修正したものの、八高線への道が分からず、辺りをうろうろしたが見つからず、再度田植えの準備をしていた人に道を聞くこととした。それで、第一西之入踏切を無事見つけリカバリーできた。リカバリーに20分位要した。八高線は高崎から高麗川まで電化されていないので鉄道の電線がない上、本数も少ないので迷うとカバーに時間を取られる。竹沢には12時30分頃ついた。



※竹沢駅、小川町駅



※明覚駅、越生駅

それから県道 30 号を通り小川町には 13 時 35 分に着く。マクドナルドで遅い昼食後、54 回のウォーキングで小川町から最長区間となる明覚駅は通らず、ひたすら 30 号線をキープして越生(おごせ)に向う。途中小雨に逢うがしばらくして止む。越生への途中、県道沿いに大銀杏を 15 時 40 分頃見つけた。越生には 17 時 5 分、毛呂(もろ)には 17 時 55 分、高麗川(こまがわ)には 19 時 18 分に着いた。自宅には 10 時 10 分着となった。寄居から高麗川までの営業距離は、32.8Kmである。この時の万歩計は 54 回通じて最大の 79,848 歩となった。今でもこのシリーズで印象に残っている一つは毛呂、高麗川と言った外国的駅名である。



※毛呂駅、高麗川駅

第3節 6月16日(土):高麗川～八王子 曇り

高麗川(10:40)～東飯能' 12:05)～金子～箱根ヶ崎～東福生～拝島～小宮～北八王子～八王子

八高線 100Km の総仕上げは、2001年6月16日(土)行なった。10時40分頃高麗川に行き、八王子を目指した。前回高麗川到達時には辺りが暗く付近を点検できなかったもので、この宿題をフォローしてからの出発となった。八高線はすべて単線である。また、高崎～高麗川間は電車ではなくディーゼル車である。この車両は、乗車口がワンマンカースタイルでトイレもついている。



※高麗川駅、東飯能駅

東飯能への途中右に宮沢湖の案内の看板が目についた。また、東飯能近郊の高台には駿河台大学の看板があった。東飯能駅はJRの他に西武秩父線が複雑に交じり合っている。このコースで印象に残っているのは、一つは「八高通り」の写真撮影後の東飯能(12時5分着)での出来事である。八高線通に沿って誤って高麗川の方角に進んでいるのを、JR電車を通じて発見した。本来ならば八王子行のはずだが、高麗川行となっていた。自分では何がなんだか分からなかった。太陽の光と山の位置等を勘案して進行方向を定めたわけなのに。「何事も確認作業が大切である」ことを思い知らされた。二つ目は、金子駅の先の箱根ヶ崎辺りから拝島近郊まで続く広大な「横田基地」である。実測した訳ではないが、歩いた感じでは6Kmくらいは八高線と16号線に沿って続いていると思われる。この近郊には米軍基地住人向けの店が多かった。まるで外国にでも行った感じであった。この基地が日本に返却されれば、空港問題は一気に解決されるような気がする。



※金子駅、金子駅への路（東飯能駅近郊）

箱根ヶ崎駅近郊の日本亭に入り野菜炒め定食を食べる。JR 拝島駅を通り越す橋は五日市線、青梅線、八高線それから西武新宿線も合流しおり長かった。拝島橋を渡り 7 時過ぎ八王子に到着する。足は棒のようであったが、プランが思う通り進展できたこともあり、自分でもこの戦略的コースを 3 回でクリアでき種々の面で更に自身に繋がった。今回のウォーキングを通じて、石原都知事の提言はタイムリーであると思えた。この日の万歩計は 64,607 歩となった。



※箱根ヶ崎駅、東福生駅

八高線を走破して感じた点は三つある。一つは、ダイヤが少ない他に八王子から高崎まで直通はなく高麗川での乗り換えが必要であり、ダイヤをきちんと調べて置かないと時間のロスが 1 時間位生じることがある。

二つ目はコース、地形や電車の本数それからディーゼルのため電線がない区間があるため、道に迷うと復旧に時間を要する。



※ 栺島駅、栺島橋

最後は、コースについてである。高崎から寄居にかけては普通のウォーキングコースである。寄居から竹沢にかけて荒川や山越えがあり道なき道を歩かねばならず、今回の 54 回を通じて一番難しいコースであったと思う。竹沢から高麗川更に八王子までは明覚近郊や東飯能近郊で難しいところがあるが、地図等で事前に勉強して置けば対処できると思う。



※ 小宮駅、北八王子駅



※ 八王子駅